

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは？

議員が市の仕事全般について、市長などに報告を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。一般質問は各定例会の本会議で行われます。

今定例会の一般質問は、15人の議員が登壇し、行政運営について市長、教育委員長、病院事業管理者などの考えを質しました。質問、答弁の要旨を掲載します。（文責は質問議員）

【質問議員】

- | | |
|----------------|---|
| 1 菅原 由和（奥和会） | 7 |
| 2 廣野 富男（市民クラブ） | 8 |
| 3 及川 善男（日本共産党） | 8 |
| 4 飯坂 一也（公明党） | 9 |

- | | |
|-----------------|----|
| 5 菅原 明（日本共産党） | 9 |
| 6 及川 佐（奥和会） | 10 |
| 7 高橋 政一（市民クラブ） | 10 |
| 8 佐藤 邦夫（市民クラブ） | 11 |
| 9 菅原 圭子（新世会） | 11 |
| 10 千葉 敦（日本共産党） | 12 |
| 11 千葉 悟郎（市民クラブ） | 12 |
| 12 鈴木 雅彦（奥和会） | 13 |
| 13 阿部加代子（公明党） | 13 |
| 14 今野 裕文（日本共産党） | 14 |
| 15 加藤 清（新世会） | 14 |

質問 子どもの貧困率では具体的な対策には繋がらない。各種指標や剥奪指標などを実態として掲げ、対策の実施と効果の検証・見直しをしていくことが貧困対策と考える。早期に調査を実施し、実態に即した対策を検討すべきと考えるが如何か。

市長 県内では14市中4市で学習支援事業を実施している。県内の状況も参考しながら検討をしていく。また、地域での学習支援については、モデル事業というより、協働の提案モデルに提案を頂ければ、市の関係部署とともに検討していくことができる。ぜひ提案をして欲しい。

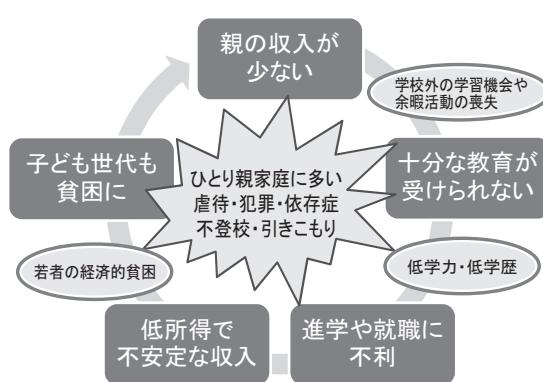
質問 進学率だけで判断すべきではない。子どもの学習支援をしたいという地域もあることから、地域を定めたモデル事業として実施してはどうか。
市長 球磨川原町などでは、地域の実情を踏まえ、地域を定めたモデル事業として実施してはどうか。

子どもの学習支援事業を実施せよ



菅原 由和 議員(奥和会)

市長 実態把握の第一歩として、今回、児童扶養手当受給者世帯を対象としたアンケート調査を実施した。この結果や、この間の事業の成果と課題も検証しながら、今後の調査のあり方を検討していく。



貧困の世代間連鎖のイメージ